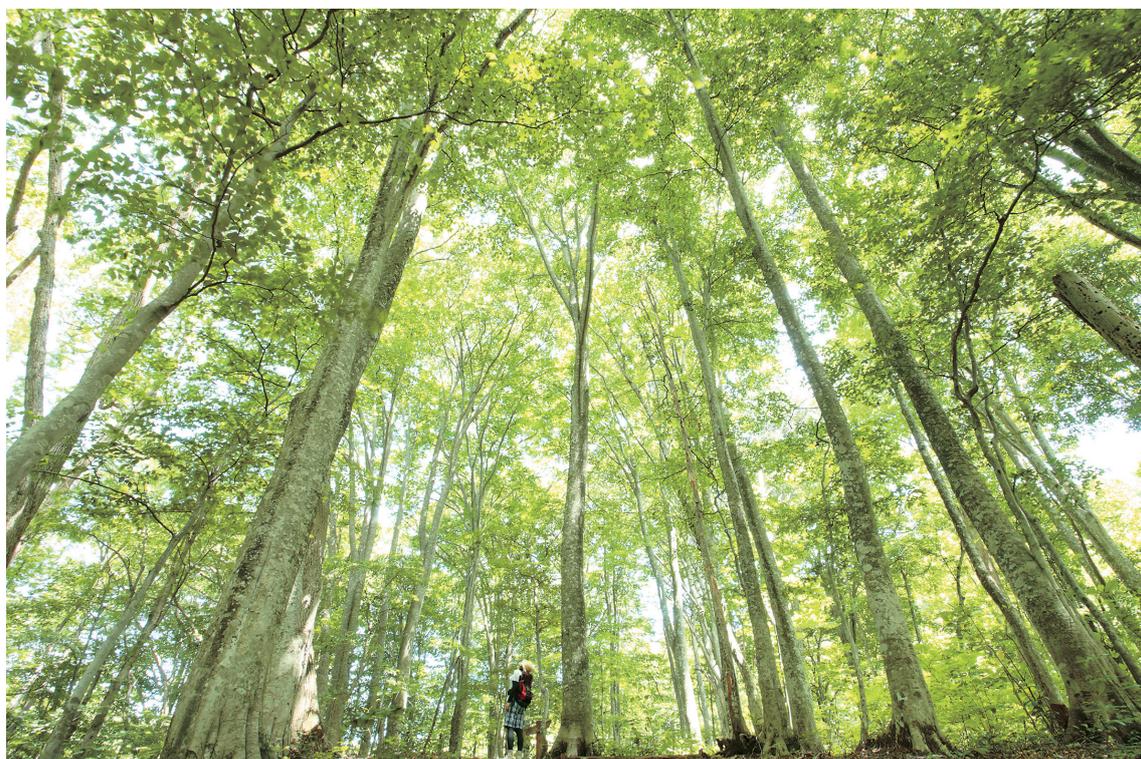


# 環境白書

令和6年版



青森県

—表紙の写真—

## 白神の森遊山道（鱒ヶ沢町）

白神山地は、青森県と秋田県にまたがる約13万haにおよぶ広大な山岳地帯で、このうち人の影響をほとんど受けていない原生的なブナ林で占められている約1万7,000haのエリアが、世界自然遺産として登録されています。鱒ヶ沢町黒森地区にある「白神の森遊山道」では、樹齢200年を超えるブナが自生するなど、白神山地核心部同様の森林景観を楽しむことができます。

# 令和6年版「環境白書」の刊行にあたって



私たちのふるさと青森県は、三方を海に囲まれ、東アジア最大級の原始的なブナの天然林を有する世界自然遺産白神山地をはじめ、十和田八幡平国立公園や三陸復興国立公園など、四季の彩り美しい自然にあふれています。

こうした本県の雄大で深甚な自然環境は、縄文時代までさかのぼり、私たちの生活を大いに支えてきました。そして、私たちは古（いにしえ）からこの自然環境の恵みを受け、農業や漁業などの生業を営み、産業を振興させ、暮らしを営んできました。各地域やそこで暮らす人たちが大切にしてきた自然環境は、世代を超えて未来への財産となり得るものです。

さて、近年、経済・社会・環境をめぐる広範な課題を統合的に解決することをめざすSDGsへの取組が国際社会全体で進められており、特に環境分野においては、地球温暖化に伴う気候変動やプラスチックごみによる環境汚染、生物多様性の損失など、地球規模での環境問題に適切に対処し、持続可能な社会を築き上げていくことが、これまで以上に重要となっています。

こうした社会情勢の変化や環境を取り巻く課題等を踏まえ、県では、令和6年3月に策定した「青森県環境総合プラン」において、2040（令和22）年の青森県がめざす姿に「自然との共生、脱炭素・循環による持続可能な地域社会の形成」を掲げ、各種施策を積極的に推進しています。

現在、昨年9月に策定した「自然環境と再生可能エネルギーとの共生構想」に基づき、現役世代が将来世代に引き継ぐべき自然環境、景観、歴史・文化等を保全しながら、持続可能な形で共存共栄していくことを前提とした、本県における再生可能エネルギーの円滑な導入を促進するための仕組みづくりに取り組んでいるところであり、こうした取組を通じて、気候変動という世界的課題にも挑んでいきたいと考えています。

この環境白書は、令和5年度の青森県の環境の状況と環境施策の概要を中心に取りまとめたものです。本書が、県民の皆様幅広く活用され、環境問題について県民一人ひとりが関心を高め、青森らしい豊かで美しい自然環境と快適な生活環境の保全・創造に向けた具体的な取組の契機となることを期待いたします。

令和6年12月

青森県知事 宮下 宗一郎

# 目 次

## 序章 トピックス…………… 1

## 第1部 総 説

第1章 環境問題の概況……………	5
第1節 地球環境問題……………	5
第2節 地球温暖化問題……………	5
1 国際的取組……………	5
2 国内の取組……………	6
3 オゾン層の保護……………	6
第3節 循環型社会の構築に向けて……………	6
第2章 環境保全対策の総合的な取組の推進……………	9
第1節 青森県環境の保全及び創造に関する基本条例……………	9
第2節 青森県基本計画「青森新時代」への架け橋……………	10
1 計画の基本的な考え方……………	10
2 青森県の2040年のめざす姿……………	10
3 環境分野の政策・施策体系……………	10
4 SDGsの理念を踏まえた各種施策の展開……………	11
第3節 青森県環境総合プラン……………	11
1 青森県環境計画の策定……………	11
2 青森県環境総合プラン……………	11
第4節 青森県地球温暖化対策推進計画……………	13
1 計画策定の経緯……………	13
2 計画の概要……………	13

第5節 青森県気候変動適応取組方針……………	15
1 計画の策定……………	15
2 計画の内容……………	15
第6節 第4次青森県循環型社会形成推進計画……………	16
1 計画の概要……………	16
2 廃棄物の現状と目標……………	16
3 本県が目指す循環型社会のイメージと計画の推進……………	16
第7節 県の率先行動……………	17
1 環境マネジメントシステム……………	17
2 地球にやさしい青森県行動プラン……………	17
第8節 北海道・北東北三県の連携……………	18
第9節 環境保全基金事業……………	19
第10節 公害防止協定……………	20
1 公害防止協定の意義……………	20
2 公害防止協定の締結状況……………	20
第11節 公害防止管理者等……………	20
第12節 各種審議会等……………	20
1 青森県環境審議会……………	20
2 青森県環境影響評価審査会……………	21
3 青森県公害審査会……………	22

## 第2部 環境の保全及び創造に関する施策・取組

第1章 カーボンニュートラルに向けた脱炭素社会の実現……………	23
第1節 温室効果ガスの排出抑制対策の推進……………	23
1 地球温暖化の現状……………	23
2 青森県地球温暖化対策推進計画の推進……………	26
第2節 自然・地域と共生する再生可能エネルギーの活用促進……………	28
1 環境・エネルギー産業の振興……………	28
2 自然環境と再生可能エネルギーとの共生構想……………	29
3 道路施設への再生可能エネルギーの導入……………	30
4 バイオマスの利活用の推進……………	30
第3節 吸収源対策の推進……………	31
1 社会全体で支える森林整備の推進……………	31
2 森林整備及び再造林の推進……………	31
3 県産材の利用促進……………	31
4 松くい虫等被害対策……………	31
第4節 気候変動への適応……………	32
1 青森県気候変動適応取組方針の推進……………	32
2 地域における適応の取組の推進……………	32

第2章 資源効率の高い循環型社会の実現……………	33
第1節 限りある資源を有効活用する3R+の推進……………	33
1 廃棄物処理……………	33
2 一般廃棄物(ごみ)の処理状況……………	34
3 産業廃棄物の処理等の状況……………	34
4 資源循環の推進……………	36
5 資源循環の環境づくり……………	38
第2節 廃棄物の適正処理の推進……………	39
1 一般廃棄物の処理体制……………	39
2 空き缶等散乱防止対策……………	39
3 海岸漂着ごみ対策……………	39
4 災害廃棄物対策……………	39
5 産業廃棄物処理業者の状況……………	39
6 産業廃棄物処理施設の状況……………	40
7 産業廃棄物処理業者等立入検査・指導……………	40
8 優良産廃処理業者認定制度の活用……………	41
9 経済的手法の活用による産業廃棄物対策……………	41
10 不法投棄等防止対策……………	42

11	ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物対策	43	2	酸性雨	95
12	県境不法投棄対策	44	第6節	環境影響評価の推進	96
13	環境犯罪の取締り状況	46	1	環境影響評価	96
<b>第3章</b>	<b>安全・安心な生活環境の保全</b>	47	2	環境影響評価制度の経緯	96
第1節	大気環境の保全	47	3	環境影響評価手続の実施状況	96
1	大気汚染の現況	47	第7節	公害苦情・紛争処理の推進	99
2	環境監視体制	47	1	公害紛争処理	99
3	汚染物質別大気汚染の現況	47	2	公害苦情処理	99
4	大気汚染防止対策	54	3	公害苦情の概況	99
5	アスベスト対策	56	<b>第4章</b>	<b>豊かな自然環境、景観、歴史・文化の</b>	
6	公害健康被害対策	57		<b>継承</b>	101
7	悪臭対策	58	第1節	世界自然遺産白神山地や貴重な自然の保全	
8	稲わら焼却防止活動	58		と活用	101
9	畜産業対策	58	1	自然保護	101
第2節	水環境の保全	60	2	自然保護の基本方針	101
1	赤石川等の河川環境の保全	60	3	自然環境の保全対策	102
2	十和田湖・奥入瀬川の河川環境の保全	60	4	世界自然遺産白神山地	106
3	十和田湖水質保全対策	60	5	温泉の保全	108
4	小川原湖水質保全対策	61	第2節	自然と共生する里地里山の保全と活用	109
5	陸奥湾水質保全対策	62	1	農地の保全	109
6	工業用水道保全対策	63	2	多面的機能の維持・発揮	109
7	農業用水保全対策	63	3	環境にやさしい農業の推進	109
8	漁場保全対策	63	4	冬の農業の推進	109
9	水質汚濁の現況	63	5	農泊の推進	110
10	公共用水域の水質等の現況	64	6	鳥獣保護管理及び狩猟	110
11	水質汚濁防止対策	74	7	希少野生生物の保護	113
12	下水道等の整備	76	第3節	生活を支える健全な水循環の確保	114
13	下水道対策	77	1	青森県ふるさとの森と川と海の保全及び創造	
14	し尿及び浄化槽汚泥処理の状況	81		に関する条例	114
15	浄化槽整備の推進	82	2	生態系に配慮した農業農村整備	115
16	浄化槽法定検査	82	3	全国水生生物調査	116
第3節	身近な生活環境の保全	83	4	都市公園整備	116
1	騒音・振動の現況	83	5	多自然川づくり	116
2	騒音・振動の発生源別の状況	83	6	港湾環境整備	116
3	騒音・振動防止対策	83	第4節	良好な景観の保全と創造	117
4	農用地土壌対策	85	1	景観法及び青森県景観条例に基づく景観形成	
5	一般環境土壌対策	85		の推進	117
6	休廃止鉱山鉱害防止対策	85	2	青森県景観形成審議会	117
7	地盤沈下対策	86	3	大規模行為届出制度	117
8	環境放射線等の調査	89	4	公共事業景観形成基準	118
第4節	化学物質対策の推進	92	5	景観形成に関する普及啓発事業及び支援	
1	ダイオキシン類対策	92		事業	118
2	PRTR制度	92	6	青森県景観計画	118
3	農薬残留対策	93	第5節	歴史・文化の価値や魅力に対する理解の	
第5節	オゾン層保護・酸性雨対策の推進	94		醸成と活用の促進	119
1	オゾン層	94	1	歴史的・文化的環境の保全・創造の必要性	119

2	歴史的・文化的環境の要素	119	3	「あおもりECOにこオフィス・ショップ」 認定事業	122
3	歴史的・文化的環境の保全・創造の方向性	119	4	環境情報の提供	122
4	縄文遺跡群の保存と活用	119	5	環境活動のネットワークづくり	122
5	伝統工芸品産業の振興	120	<b>第6章</b>	<b>青森県環境総合プランに係る取組状況等の 点検・評価結果</b>	123
6	青森県史の編さん	120	1	点検・評価の対象・方法	123
<b>第5章</b>	<b>あおもりの環境を守り育てる人財の育成 及び各主体との連携・協働の推進</b>	121	2	青森県総合計画審議会環境・社会資本部会 における主な意見	124
第1節	子どもから大人まで、あおもりの環境を 次世代へつなぐ人づくり	121	3	令和5年度における取組状況等の自己点検 結果	125
1	環境教育・学習の推進	121	4	進行管理指標の状況	143
第2節	環境に優しい行動を促進する仕組みづく り	121			
1	「もったいない・あおもり県民運動」の 推進	121			
2	事業者等に対する普及啓発及び支援	121			

## 資料編

目次	147
----	-----

# 序章 トピックス



# 序章 トピックス

令和5年度の環境保全、自然保護及び脱炭素・循環型社会づくりに関連する県の取組からいくつかのトピックスをまとめました。

## 【環境政策課】

### 「青森県環境総合プラン」の策定（計画期間：令和6年度～令和10年度）

「青森県環境の保全及び創造に関する基本条例」に基づき、本県の環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「青森県環境総合プラン」を令和6年3月に策定しました。

本プランは「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」の目標実現に向け、環境に関する取組の政策・施策レベルの内容を総合的かつ体系的に提示しています。

※第1部第2章第3節参照

## 【環境政策課】

### 「あおもり省エネ家電買替え応援キャンペーン」の実施（令和5年8月～令和6年2月）

エネルギー価格の高騰等により影響を受けている県民生活を支援するため、「あおもり省エネ家電買替え応援キャンペーン」を実施しました。キャンペーン参加店で、家庭での消費電力が大きいエアコン、冷蔵庫、テレビ、照明器具のうち、一定基準を満たした製品に買い替えた方に、キャッシュレスポイント等を交付しました。

**商品券やキャッシュレスポイントGETだニャン!!**

**環境にも家計にもやさしい**

**あおもり省エネ家電買替え応援キャンペーン**

**青森県限定**

期間中、「キャンペーン参加店」で、基準を満たす対象製品に買い替えた方に、**キャッシュレスポイントや商品券等をプレゼント!**

「脱炭素チャレンジ店」で購入すると、**ポイントが2倍!**

キャンペーン参加店や脱炭素チャレンジ店の詳細は、専用サイトを御覧ください。

**省エネ性能**

品目	省エネ性能	統一省エネ等級	ポイント交付分額
エアコン(1台まで)	2.2kW以下	★★★★以上	20,000 40,000
エアコン(1台まで)	2.2kW～2.8kW	★★★以上	25,000 50,000
エアコン(1台まで)	3.8kW以上	★★以上	30,000 60,000
冷蔵庫(1台まで)	150L～350L	★★★以上	5,000 10,000
冷蔵庫(1台まで)	351L～450L	★★★以上	15,000 30,000
冷蔵庫(1台まで)	451L以上	★★★以上	20,000 40,000
テレビ(2台まで)	40型未満	★★★★以上	5,000 10,000
テレビ(2台まで)	40型以上	★★★以上	10,000 20,000
LED照明器具(4台まで)	-	★★★★以上	1,000 2,000

**ポイント等交付申請受付期間**  
8/10(土)～2/20(日)

**県内宿泊券1万円分をプレゼント!!** 県内宿泊券の 8/10(土)・12/31(日)

対象品目のうち、上記表の基準にはあてはまらない製品及びLED電球を購入した方の中から、**抽選で100名に県内宿泊券1万円分をプレゼント!**

**ポイント等交付 申請方法**

**STEP 1** 参加店で対象の省エネ家電製品を購入

**STEP 2** 購入した参加店から申請チケットを受け取る

**STEP 3** 設置後、チケットに記載の二次元コード等にアクセスし申請内容を入力

**STEP 4** 審査終了後、お好きな特典をプレゼント

**必要書類・情報**

- 申請チケット
- 氏名・住所・電話番号
- メールアドレス
- レシート(領収書)の写真又はコピー
- 本人確認書類の写真又はコピー
- 買替えに関する情報(現在使用中の機種等)
- 買替え前の写真(写真を撮影できない場合は、その理由)
- 設置された製品の写真

**申請方法**

上記書類をご用意の上、キャンペーン特設サイトから**必要情報を入力または郵送**で申請してください。

**インターネットでの申込み**  
https://kaden-aomori.jp

**郵送でのお申込み**  
上記必要書類の他、申請書をキャンペーン特設サイトのダウンロード又は郵送部へ郵送ください。記入してある事項を照らし合わせ、郵送部へお送りください。

**お問い合わせ・郵送先**  
あおもり省エネ家電買替え応援キャンペーン事務局  
〒030-0812 青森市堤町2-1-1-2F  
TEL 017-752-9560  
FAX 017-752-9561  
E-mail info@kaden-aomori.jp

※第2部第1章第1節参照

## 【環境政策課】

### 再配達削減に向けた取組の実施

#### (1) 宅配ボックス県民モニター事業

宅配ボックスの使用感及び効果等を検証するため、青森県内に居住する300名を対象に下記3種類のボックスのいずれかを割り当て、効果を検証するモニター事業を実施しました（事業終了後は、各モニターへ宅配ボックスを無償提供）。

モニターへのアンケート調査の結果、宅配ボックスの利用前後で再配達の頻度が「ほぼ無し」と回答した方が、18.7%から85.9%に大きく増加し、92.3%の方がこれからも宅配ボックスを継続利用したいと回答しました。



#### (2) 宅配便ロッカーの設置・運用

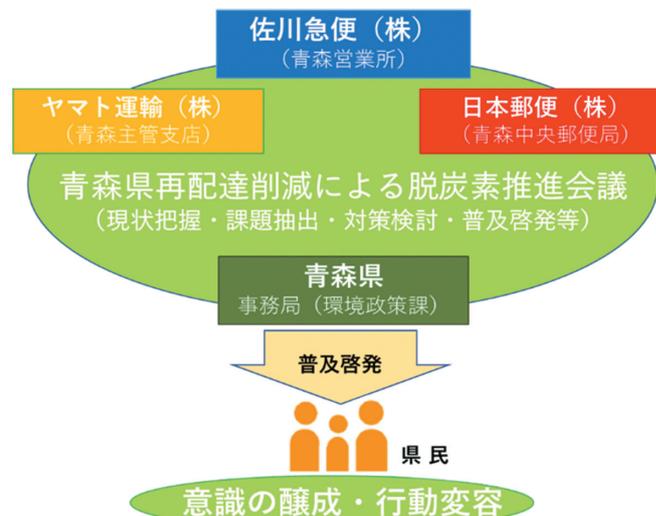
Pack city Japan(株)とイオン東北(株)の協力により、荷物の受取場所として指定可能なオープン型宅配便ロッカーPUDOステーションを県内のマックスバリュ等8店舗に設置しました。



PackCityJapan(株)提供

#### (3) 「青森県再配達削減による脱炭素推進会議」設置

再配達の現状把握、情報共有、課題の洗い出し及び方策の検討などを行うため、主要宅配便事業者（ヤマト運輸(株)、佐川急便(株)、日本郵便(株)）と県で構成する「青森県再配達削減による脱炭素推進会議」を設置しました。



※第2部第1章第1節参照

【環境保全課】

低濃度PCB廃棄物の期限内処分に向けた取組の徹底

低濃度PCB廃棄物の処分期限が令和9年3月31日と差し迫っていることから、「低濃度PCB早期処理促進事業」として次の取組を実施しました。

- ・ 自家用電気工作物（変圧器、コンデンサー等）所有事業者を対象とした低濃度PCB廃棄物保管等状況調査の実施
- ・ 県や市町村等の庁舎等管理担当を対象とした低濃度PCB廃棄物に係る説明会の開催及び庁舎等における低濃度PCB廃棄物の保管等に関する調査の実施
- ・ 各地域県民局環境管理部に配置したPCB専門員による立入検査等を通じた、低濃度PCB廃棄物の保管事業者等に対する期限内処分徹底の働きかけ
- ・ テレビや新聞、リーフレット等を活用した低濃度PCB廃棄物の期限内処分の周知



県・市町村等庁舎等管理担当者向け説明会



新聞広告（R5.12.18掲載）

※第2部第2章第2節参照

【環境保全課】

「十和田湖環境保全会議」の開催（令和5年11月）

十和田湖環境保全会議は、十和田湖の水質及び周辺環境の保全を目的に、行政や試験研究機関による各種調査の報告、事業者や地域住民の情報交換の場として、本県と秋田県が交互に事務局を担当し毎年開催しています。

近年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面での開催を余儀なくされていましたが、令和5年度は久しぶりに地域住民や関係者が一堂に会し、十和田市で開催しました。

秋田大学大学院理工学研究科システムデザイン工学専攻 網田助教より、十和田湖の水環境と火山現象について、水質調査結果から得られた知見等を講演していただきました。



※第2部第3章第2節参照

## 【自然保護課】

### 白神山地の価値や魅力を県内外に広く発信～白神山地世界自然遺産登録30周年～

白神山地が我が国で初めてとなる世界自然遺産に登録されてから令和5年に30周年を迎えたことを契機として、白神山地の価値や魅力を発信するため、本県が誇る2つの世界遺産の普遍的価値をPRする家族キャンプや、生態系の価値や山・川・海の恵み、暮らしや文化などの多彩な魅力を県内外に発信するシンポジウムを開催したほか、県内の飲食・宿泊等事業者が「白神山地応援隊」を結成し、代金割引や記念品プレゼントなどの各種サービスを提供するスタンプラリーを実施するなど、関係者が一体となって記念の年を盛り上げました。



縄文キャンプin白神山地（深浦町）



記念シンポジウム（弘前市）

※第2部第4章第1節参照

## 【エネルギー開発振興課】

### 「自然環境と再生可能エネルギーとの共生構想」の公表（令和5年9月）

電力の構造転換が図られている中、再生可能エネルギーの普及拡大が国全体として必要不可欠な状況となる一方で、未来世代へと引き継がれるべき自然環境を守らなければいけないという局面になっています。

そこで、「自然環境と再生可能エネルギーとの共生構想」において、自然環境と再生可能エネルギーの共生のあり方について、目指す姿とその前提を定め、ルールづくりについて一定の方向性を示したところです。



※第2部第1章第2節参照